

平成21年度策定地域管理経営計画等 説明資料



平成22年3月12日（金）

近畿中国森林管理局

平成 年度策定地域管理経営計画等説明資料

平成	年度策定の地域管理経営計画等の概要（P R版）	p 1 ～
平成 2	年度策定・森林計画区別機能類型別	p
平成 2	年度策定森林計画区別・機能類型別・面積グラフ	p
平成 2	年度策定・人工林・天然林別・齢級別面積グラフ	p
	機能類型別・施業群・生産群	p
平成	年度策定水土保持林・水かん涵養タイプ 施業群別面積	p
平成 2	年度策定資源の循環利用林 生産群別面積	p
平成 2	年度策定水土保持林・水源かん養タイプ 施業群別面積割合グラフ	p
平成 2	年度策定資源の循環利用林 生産群別面積割合グラフ	p
	保護林一覧表	p
	レクリエーションの森一覧表	p ～
平成 2	年度森林計画区別・機能類型別面積 （近畿中国森林管理局全体）	p
	国有林の森林計画制度	p
	用語解説	p ～

平成21年度策定の地域管理経営計画等(案)の概要

近畿中国森林管理局

I 対象となる森林計画区

近畿中国森林管理局では、管内の40森林計画区について、5年毎に「地域管理経営計画」と「国有林野施業実施計画」を策定しています。

平成21年度は、そのうち7森林計画区について、平成22年4月1日からの5年間の計画を樹立します。



○樹立する森林計画区

湖北（滋賀県）、大阪(大阪府)、円山川（兵庫県）日野川（鳥取県）、江の川下流(島根県)、江の川上流（広島県）、山口（山口県）

※ 上図緑色の森林計画区

「地域管理経営計画」とは、

森林管理局長が、管理経営基本計画に即し、国有林の地域別の森林計画との調和を保ち、森林計画区毎に、今後5年間を見通した管理経営の基本的事項を定める計画です。

「国有林野施業実施計画」とは、

森林管理局長が、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即して、国有林野の箇所別（林小班単位）に今後5年間の森林の管理経営及び森林施業（伐採、更新等の保育及び林道、治山の事業量）について定める計画です。

Ⅱ 計画策定の基本的な考え方

地域管理経営計画等の策定に当たっては、「管理経営基本計画」に即し、「国有林の地域別の森林計画」とも調和させながら、林産物の供給や地域振興等への寄与にも配慮しつつ、個々の国有林野を重点的に発揮させる機能によって次の3つに類型化し、それぞれの機能区分ごとに適切な管理経営を行います。

新計画では、公益的機能の発揮を重視した管理経営を推進するため、新たに保安林を指定したこと等を踏まえ、資源の循環利用林を見直し、水土保持林等の公益林の比率を上げました。

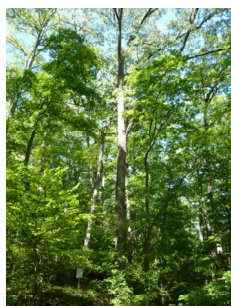
水 土 保 全 林

水源のかん養や山地災害の防止を重視します。「国土保全タイプ」と「水源かん養タイプ」に区分して管理します。

新計画では、水源かん養保安林の指定等により、江の川下流森林計画区ほかで 約3,300ha増やしました。



〔水源かん養タイプ〕
(高地山国有林：江の川上流)



森林と人との共生林

森林生態系の保全や生活環境の保全、森林空間の適切な利用を重視します。「自然維持タイプ」と「森林空間利用タイプ」に区分して管理します。

〔自然維持タイプ〕
(釜ヶ峰山国有林：江の川上流)



〔森林空間利用タイプ〕
(三ツ石山国有林：江の川下流)

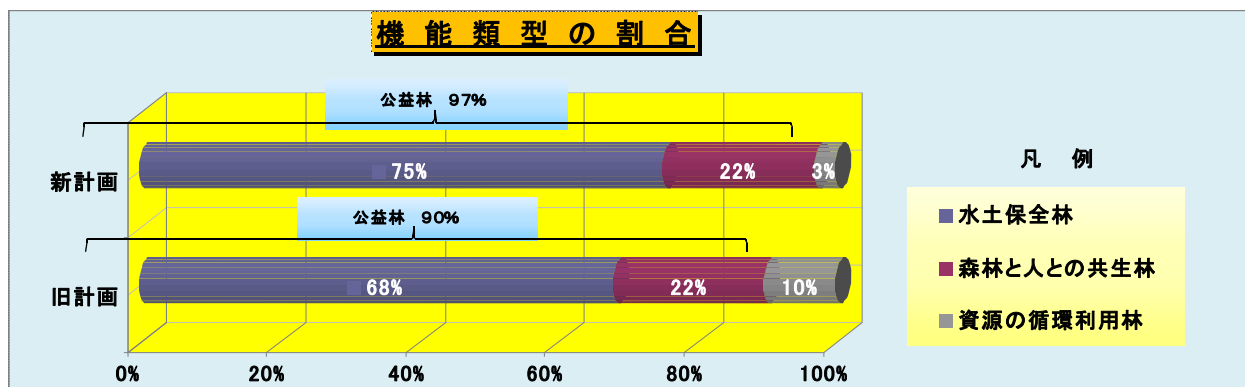
資源の循環利用林

公益的機能の発揮に配慮しつつ、効率的に木材等の林産物の生産を行うことを重視します。

江の川下流森林計画区ほかで、水土保持林や森林と人との共生林へ振り替えたこと等から 約3,400ha減りました。



(田尻中山国有林：江の川上流)



※「公益林」：森林の公益的機能の発揮を主目的とする森林

Ⅲ 計画のポイント

1 主要事業の実施

公益的機能との調和に配慮して多様な森林へ誘導するため、帯状、モザイク状など主伐方法の多様化や長伐期化を図るとともに健全な森林の育成、二酸化炭素の吸収目標の達成のため、間伐を積極的に進めます。 また、主伐については、分収育林などの契約期限によるものを中心に計画しました。



(釜ヶ峰山国有林:江の川上流)

林道については、より開設コストの安い作業道と組み合わせた形で路網整備を進めます。

主要事業の旧計画との比較

伐 採	新計画	前計画	林 道	新計画	前計画
主 伐	86千m3	38千m3	開 設	8,300m	16,360m
間 伐	718千m3	600千m3	改 良	7,019m	1,264m
更 新	新計画	前計画	保 育	新計画	前計画
更 新	243ha	141ha	下 刈	776ha	637ha
			除 伐	460ha	772ha



また、災害に強く安全で安心な国土づくりのため、治山事業として保安施設の設置及び保安林の整備を行います。

治山事業の前計画との比較

治山事業	新計画	前計画
保安施設	74箇所	82箇所
保安林整備	348ha	506ha

[治山事業(溪間工)] (紀泉高原国有林:大阪)

(参考) 前計画に対する実績

伐採量については、地球温暖化防止森林吸収源対策として間伐等に積極的に取り組むため当初計画の431千m3の139%に当たる600千m3の変更計画を組み実行しました。その変更計画に対する実施率は、105%でした。林道事業については、開設より改良を優先したことから開設の実施率は27%、改良の実施率は175%となり、治山事業の保安施設については、災害復旧の実施などもあり110%の実施率となりました。

前計画に対する実績

伐採量	計画	実績	実施率	施 設	計画	実績	実施率
主 伐	38千m3	16千m3	42%	林道(開設)	16,360m	4,380m	27%
間 伐	600千m3	629千m3	105%	治山(施設)	82箇所	90箇所	110%

2 国有林野の維持・保存

林野巡視を行うとともに、保護林の適切な管理、鳥獣との共生、森林病虫害や鳥獣による被害対策等を行い国有林野の維持・保存に努めます。

(1) 貴重な森林の保全

これまで自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的に「保護林」を設定していますが、モニタリング調査を進め、新計画では、林木遺伝資源保存林で1箇所、植物群落保護林で2箇所の保護林を拡張します。



〔滑山植物群落保護林〕（山口）

拡充する保護林 単位：ha

名 称	旧面積	拡 充	新面積
十文字山林木遺伝資源保存林(江の川下流)	23.86	20.99	44.85
十文字山ブナ植物群落保護林(江の川下流)	6.75	35.69	42.44
木地屋敷敷ブナ植物群落保護林(円山川)	19.33	4.34	23.67

保護林の設定状況（拡充後）

種 類	計画区内		局全体（参考）	
	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
森林生態系保護地域	1	2,012	3	11,633
森林生物遺伝資源保存林	－	－	2	2,309
林木遺伝資源保存林	4	114	21	829
植物群落保護林	10	1,106	43	3,784
特定動物生息地保護林	－	－	4	227
特定地理等保護林	－	－	1	30
計	15	3,232	74	18,812

※計画区内の数値は、局全体の内数

(2) 生物多様性の確保等



〔東中国山地緑の回廊
でのワークショップ〕
(畑ヶ平国有林：円山川)

保護林以外の森林においても、生物の多様性の確保のため、学識経験者等との情報交換を図り、希少野生動植物（猛禽類やツキノワグマ等）の生息・生育情報等の把握とその環境保全等に努めます。

また、保護林を繋げ、野生動植物の移動経路を確保し、相互交流を促す「緑の回廊」を設定し、野生動植物の保全に努めています。

湖北森林計画区では、福井県、岐阜県の県境の「越美山地緑の回廊（湖北で 2,011ha）」を、円山川森林計画区では、鳥取県、岡山県境の「東中国山地緑の回廊（円山川で 1,119ha）」を設定しています。

(3) 被害対策

松くい虫やカシノナガキクイムシ等の森林病虫害による森林被害については、周辺民有林と連携を密にして、被害の未然防止、早期発見、早期防除によりまん延防止に努めます。

ニホンジカ等による獣害については、防護柵の設置などにより、被害の防止に努めます。



〔カシノナガキクイムシ
の被害〕

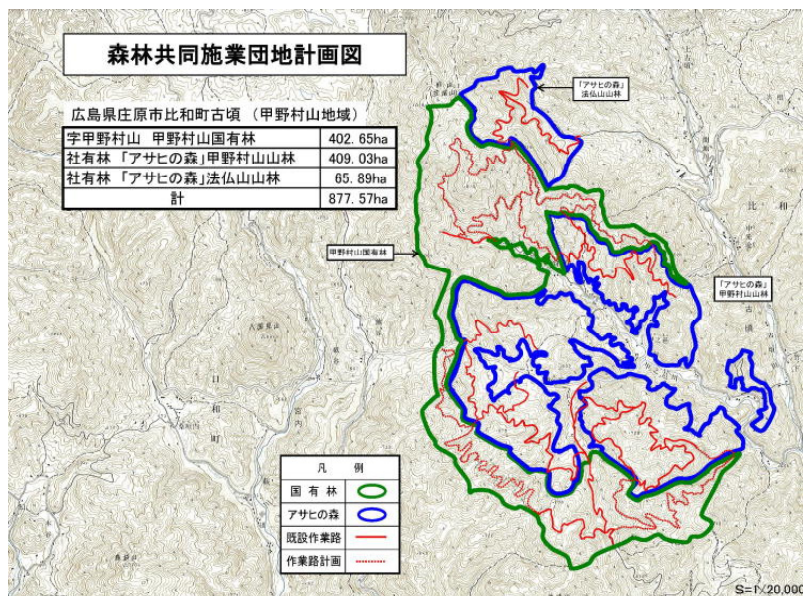
3 林産物の供給

(1) 木材の安定的な取引関係の確立

隣接した民有林と国有林が連携して作業道の作設や間伐等の森林整備、間伐材の販売等を実施する「森林共同施業団地」を積極的に設定します。



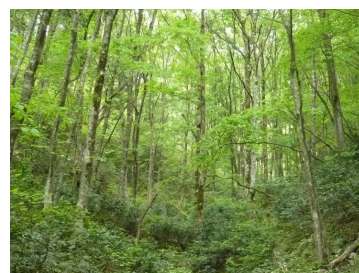
〔低コスト路網生産システム〕



また、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた「低コスト路網生産システム」による間伐の推進、国有林と民有林が連携した間伐の生産性向上や間伐材の供給、安定的な供給に資するシステム販売等により、木材の生産・販売に努めます。

(2) 文化財保全等への貢献

伝統的木造建造物を将来にわたって健全に維持・継承していくため、国宝・重要文化財等に指定されている木造建造物等の修復資材（大径材）の供給体制を整備します。



〔文化財継承林〕
（七ヶ所山：江の川上流）

計画区内の文化財継承林

対象樹種	箇所	面積 (ha)	関係計画区
ケヤキ	8	73.16	湖北、大阪、江の川下流、江の川上流、山口
クリ	1	10.83	江の川下流
クスノキ	1	0.82	大阪

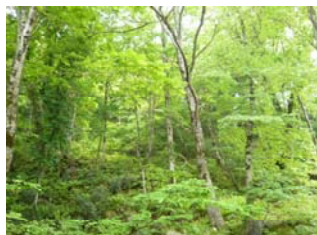
4 国有林野の活用

(1) 保健・文化・教育的な活動への利用促進

森林とのふれあいの場を提供するために「レクリエーションの森」を選定し、広く国民の皆さんに利用して頂いています。このレクリエーションの森は地域関係者の協力体制（管理運営協議会等）の下、利用者のニーズに則した施設整備や森林景観対策など質の向上に努めます。



〔明治の森箕面自然休養林の施設〕
（箕面国有林：大阪）



〔畑ヶ平風景林〕（円山川）

レクリエーションの森の設定状況

種 類	計画区内		局全体（参考）	
	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
自然観察教育林	2	256	15	1,420
森林スポーツ林	1	37	3	300
野外スポーツ地域	3	456	11	1,720
風景林	15	1,384	85	11,653
風致探勝林	1	478	7	1,738
自然休養林	2	878	9	6,034
計	24	3,489	130	22,865

※計画区内の数値は、局全体の内数

(2) 国民参加の森づくり

森林ボランティア団体、NPO等による自主的な森林づくり活動のフィールドとなる「ふれあいの森」の設定のほか、企業の森林のCSR活動の要請等に応える「法人の森（分収林制度）」などにより活動場所を提供します。また、学校等が国有林野で林業体験や森林教室等の体験活動を実施する「遊々の森」を設定するなど、国民参加の森作りや森林環境教育に係る各種支援を行います。

新計画では、新たに大阪森林計画区の箕面国有林(25ha)、楊梅山国有林(38ha)の2箇所です。



〔「オオクワガタが棲める森づくり」で、どんぐりを植える園児〕
（箕面：大阪）

計画区内のふれあいの森と遊々の森（新規含む）

種 類	箇所	面積 (ha)	関係計画区
ふれあいの森	8	209	大阪、円山川、日野川、江の川上流、江の川下流、山口
遊々の森	5	91	大阪、江の川上流、江の川下流

さらに、箕面国有林（大阪森林計画区）では、里山の再生と生物多様性の向上を図る「オオクワガタが棲める森づくり（箕面体験学習の森整備事業）」に取り組みます。

Ⅳ 森林計画区毎の主要事業

1 伐採指定量

(単位：m³)

森林計画区	主 伐	間 伐	臨 伐	計	備考
湖 北	0	34,263	750	35,013	
大 阪	971	24,230	2,000	27,201	
円 山 川	0	39,237	1,000	40,237	
日 野 川	0	35,002	1,000	36,002	
江の川下流	29,966	183,798	1,500	215,264	
江の川上流	39,793	341,760	5,000	386,553	
山 口	15,334	59,643	2,500	77,477	
伐採量計	228% 86,064	120% 717,933	58% 13,750	124% 817,747	
前計画量	37,758	600,259	23,750	661,767	

注1：上段パーセント表示は、対前計画量比

注2：臨時（臨時伐採）は、事業実行上の支障木、病虫害等による被害木で、計画時点で箇所付けできないもの。

2 その他の主要事業

森林計画区	更 新 (ha)	保 育		林 道		治 山	
		下刈 (ha)	除伐 (ha)	開設 (m)	改良 (m)	整備 (ha)	施設 (箇所)
湖 北	0	0	0	0	1,930	230	15
大 阪	7	13	2	0	3,409	21	2
円 山 川	0	0	0	0	0	0	1
日 野 川	0	3	4	3,800	0	0	33
江の川下流	67	207	118	1,000	680	33	8
江の川上流	129	449	228	3,500	0	64	10
山 口	40	104	107	0	1,000	0	5
伐採量計	243	776	460	8,300	7,019	348	74
前計画量	141	637	772	16,360	1,264	506	82

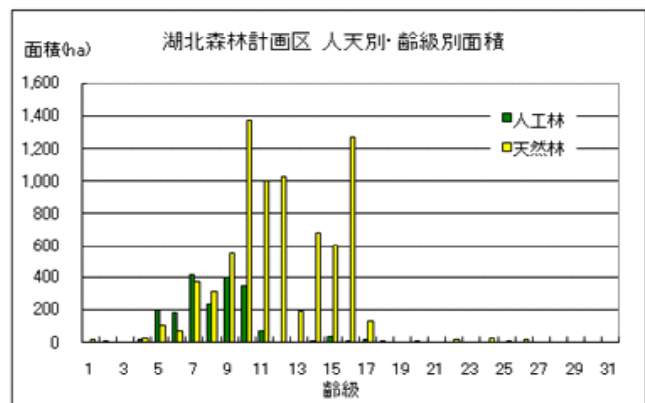
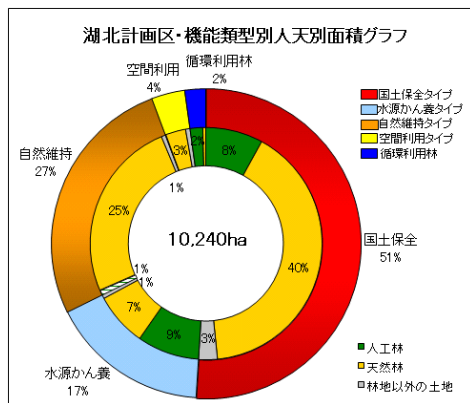
注：四捨五入の関係で、合計が合わないものがある。

V 各森林計画区の特徴

◆湖北森林計画区の特徴◆

湖北森林計画区は、滋賀県の北部に位置し、国有林野10,240haは、福井、岐阜両県と県境の脊梁部を主体に比較的まとまりのある団地として分布するほか、琵琶湖周辺に小面積の団地が点在しています。また、計画区の森林全体に占める国有林野の割合は約10%と低いものの、国有林野で水源かん養保安林が75%、土砂流出防備保安林が15%を占めており、国土保全、水源かん養等公益的機能の発揮において重要な役割を担っています。

- (1) 機能類型別面積は、対象国有林野のほとんどが琵琶湖に注ぐ河川の源流部に位置すること等から、「国土保全林」が68%を占めており、「森林と人との共生林」の30%と合わせ公益林が98%を占めています。
- (2) 生育の西限となる希少な湿性植物群落やブナ・ミズナラの植物群落の保護のため、三国山植物群落保護林、上谷山植物群落保護林を設定し、適切な保護管理に取り組んでいます。また、滋賀、福井、岐阜の3県にまたがる「越美山地緑の回廊」を設定し、野生動植物の保全に取り組んでいます。
- (3) 奥伊吹地域は、地利的条件に恵まれ近畿及び名古屋圏から、スキーやハイキングなど森林を利用したレクリエーションの場として、多くの人々に利用されています。
- (4) 人工林の齢級配置が7～10齢級の林分が約71%となっており、健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、前計画の約1.3倍（約34千m³）の間伐を実施します。



「三国山植物群落保護林(三国山国有林)」
(滋賀県高島市)



「奥伊吹スキー場(奥伊吹国有林)」
(滋賀県米原市)

◆大阪森林計画区の特徴◆

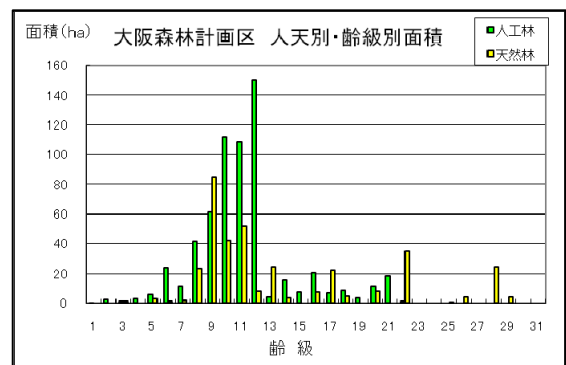
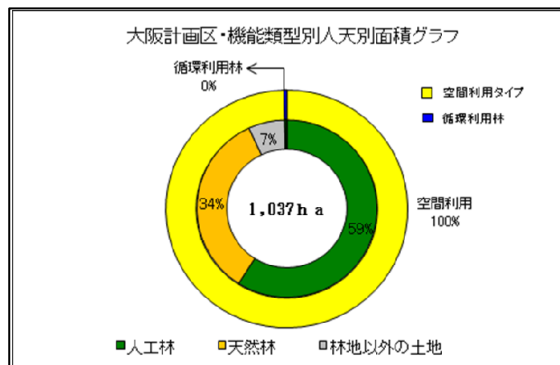
大阪森林計画区は大阪府全域が区域であり、国有林野 1,037ha は、府北部の北摂山系と南部の和歌山との県境にある紀泉高原に散在しています。計画区の森林全体に占める割合は2%と低いものの、国有林野での水源かん養保安林は81%を占め、下流域の水源として重要な役割を担っているとともに、そのほとんどが都市近郊に所在していることから、都市住民の保健文化・教育的利用の場として多くの人に利用されています。

(1) 機能類型別面積は、国民と自然とのふれあいの場としての利用を図ることを第一の目標とする「森林と人との共生林」の森林空間利用タイプがほぼ100%です。その内「レクリエーションの森」が85%占め、「明治の森箕面」と「紀泉高原」2箇所^{ようばいさん}の自然休養林があります。特に明治の森箕面^{ようばいさん}国定公園に指定されている箕面国有林は東海自然歩道や園地が整備され、ハイキングや自然観察など多くの人に利用されています。

(2) 里山の再生と生物多様性の向上を図る「箕面体験学習の森整備事業」として複層伐と択伐を計画します。伐採跡地にはクヌギやコナラなどの広葉樹を植栽し、「オオクワガタの棲める森づくり」を進めます。

また、健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成、美的景観の向上などのため、前計画の約1.2倍(約24千 m^3)の間伐を実施します。

(3) ボランティア等による自主的な森づくり活動を支援するための「ふれあいの森」と、森林環境教育の推進を図るため、国有林野をフィールドとした体験活動等を実施する「遊々の森」を引き続き設定するとともに、箕面国有林と楊梅山^{ようばいさん}国有林で新たに「ふれあいの森」を設定します。



「明治の森箕面自然休養林(長谷園地)(箕面国有林)」
(大阪府箕面市)

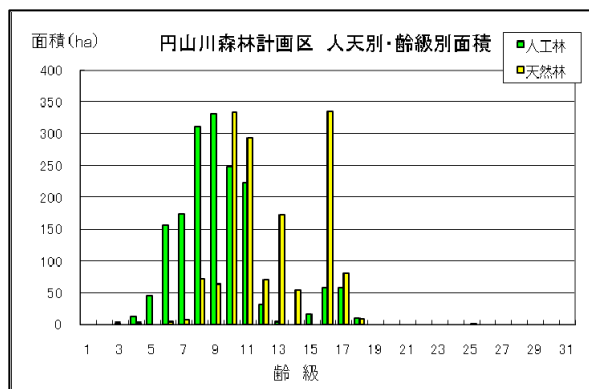
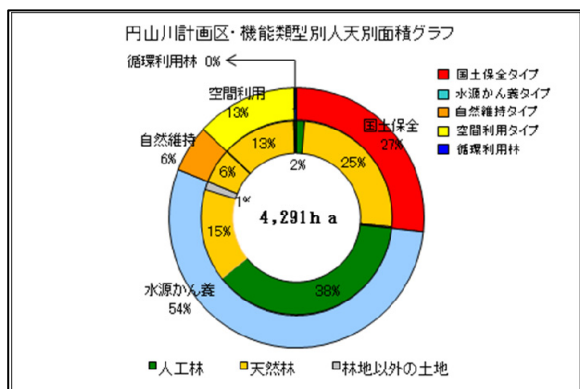


「ふれあいの森」新規設定箇所(楊梅山^{ようばいさん}国有林)
(大阪府高槻市)

◆円山川森林計画区の特徴◆

円山川森林計画区は兵庫県北部に位置し、国有林野 4,291ha は鳥取県境沿いの脊梁付近と、県東部の京都府との県境付近に散在しています。計画区の森林全体に占める割合は2%と低いものの、国有林野での水源かん養保安林が93%を占め、下流域への水源地帯として重要な役割を果たしています。また、一部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、渓谷、豊かな自然景観など豊富な資源を有し、登山などの保健休養の場として多くの人に利用されています。

- (1) 機能類型別面積は、水源かん養機能や山地災害防止機能の発揮が求められる「水土保全林」が約81%占めており、「森林と人との共生林」を合わせると公益林は100%です。林況は氷ノ山周辺の森林など天然林が60%占めています。
- (2) 健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、前計画の約1.2倍(約39千 m^3)の間伐を実施します。
- (3) 学術上価値の高い樹木群落を保護することを目的とした植物群落保護林を3箇所設定しています。その内ブナを主体とする高齢級天然林を保護する「木地屋敷ブナ植物群落保護林」を約4ha 拡充しました。今後も適切な保護管理を行います。また、保護林等(一部民有林を含む)を連結した「東中国山地緑の回廊」を設置しており、生物多様性の確保など民有林との連携による野生鳥獣との共生を目指した森林づくりを進めていきます。
- (4) ボランティア等による自主的な森づくり活動を支援するため「ふれあいの森」を引き続き畑ヶ平国有林に設定し、森林整備等へのフィールドの提供をします。



おくやま
「間伐計画予定地(奥山国有林)」
(兵庫県養父市)



みづやま
「保護林拡充箇所(水山国有林)」
(兵庫県香美町)

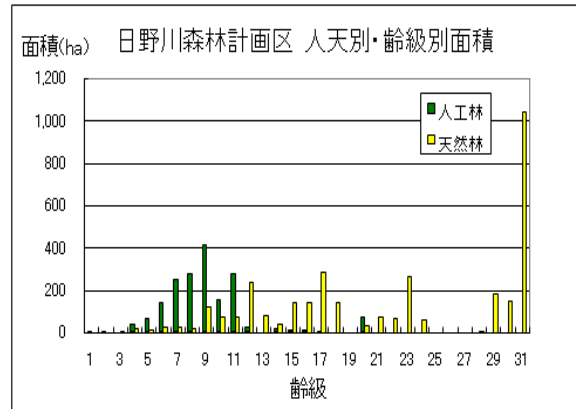
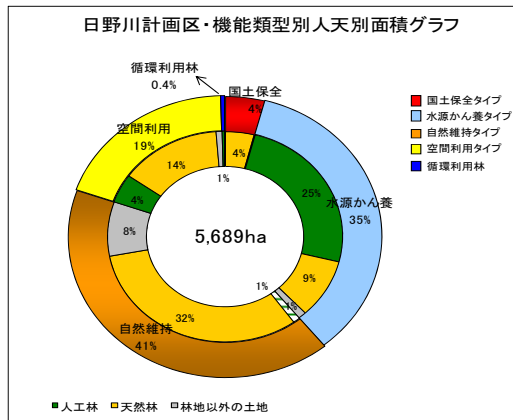
◆日野川森林計画区の特徴◆

日野川森林計画区は鳥取県の西部に位置し、国有林野 5,689ha は鳥取県西部の大山に集中しているほか、日野郡を流下する日野川の上流、支流に分散しています。

計画区森林総面積に占める国有林野の割合は7%と低いものの、国有林野での水源かん養保安林の指定は71%を占め、下流域の水資源の確保に重要な役割を担っています。

また、大山周辺の国有林野は、中国地方の主峰大山を中心に、大山隠岐国立公園に指定されており、雄大な森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、スキーや登山など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

- (1) 機能類型別面積は、「水土保持林」が39%、「森林と人との共生林」が61%で、公益林の面積がほぼ全域を占めています。
- (2) ボランティア等による自主的な森づくり活動を支援するため、大山国有林において引き続き「ふれあいの森」を設定し、森林整備等へのフィールドの提供を行います。
- (3) 大山周辺における原生的なブナの天然林等の保護林を保全するとともに、大山並木松等の貴重な植生の衰退が見られる箇所において、保全措置を実施します。
- (4) 健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、35 千 m³ の間伐を実施します。



「ブナの再生を目指すふれあいの森(大山国有林)」
(鳥取県大山町)



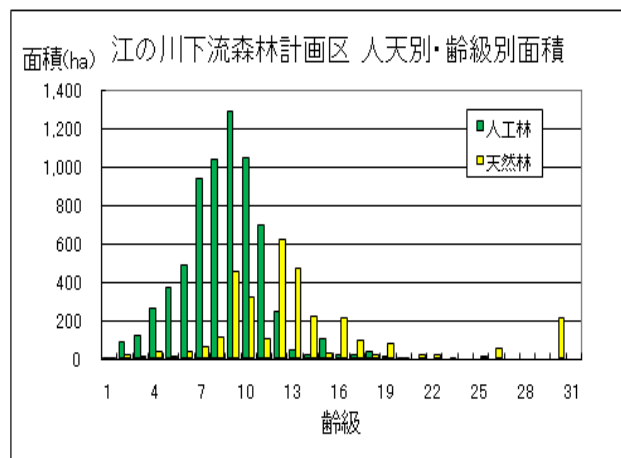
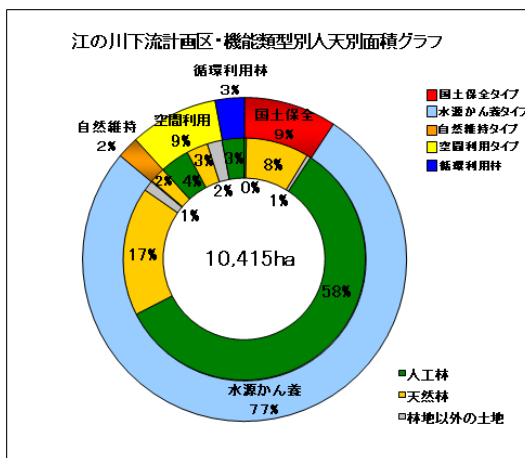
「町指定天然記念物の大山並木松(大山国有林)」
(鳥取県大山町)

◆江の川下流森林計画区の特徴◆

江の川下流計画区は、島根県の中央部に位置し、国有林野 10,415ha は、計画区東部の江の川流域に多く所在しています。計画区の森林全体に占める割合は6%と低いものの、国有林野での水源かん養保安林が88%を占め、下流域の水資源の確保に重要な役割を果たしています。また、一部は大山隠岐国立公園や西中国山地国立公園に含まれ、登山やスキーなどの森林レクリエーションの場として多くの人に親しまれています。林分は、ヒノキ、スギを主体とした人工林の割合が高く、生育は中庸で、今後伐採林齢に達していきませんが、国有林が小面積で分散していることから、隣接民有林との連携の下での木材の持続的な供給が求められています。

- (1) 水土保持林では、保安林の指定や今後の指定計画を踏まえた見直しを行い、また、森林と人との共生林で保護林の拡充を行った結果、機能類型別面積は、「水土保持林」の86%(前計画59%)と、「森林と人との共生林」の11%(前計画5%)を併せて公益林が97%(前計画54%)となりました。
- (2) 伐採計画について、主伐で分収林等の伐採を計画するとともに、健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、前計画の1.4倍(184千m³)の間伐を実施します。

実行に当たっては、共同施業団地の設定によるロットの拡大を行い、県内外の大規模木材加工工場向けに「国有林材の安定供給システム販売」を行うなど、資源の有効利用に努めます。



「森林共同施業団地(柿木山国有林)」
(島根県浜田市)

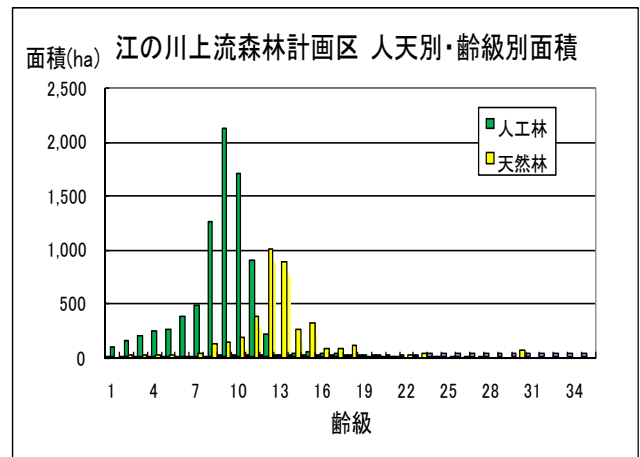
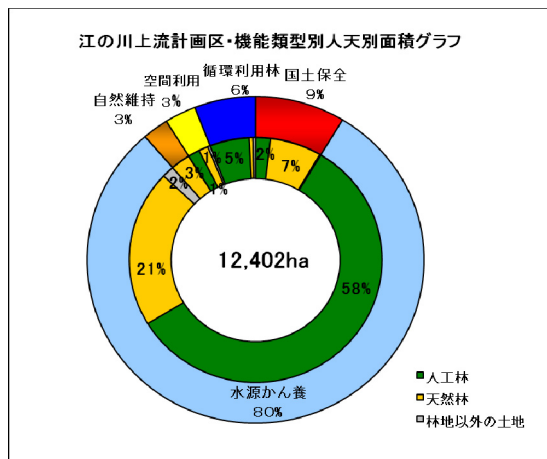


「十文字山植物群落保護林拡充箇所(十文字山国有林)」
(島根県浜田市)

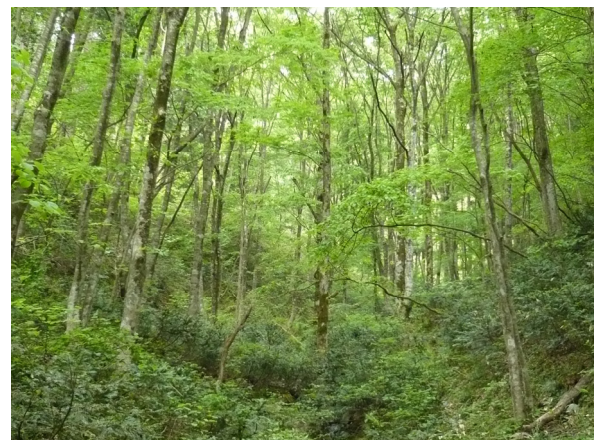
◆江の川上流森林計画区の特徴◆

江の川上流森林計画区は、広島県北部にある中国地方第一の河川江の川の源流域に位置し、国有林野 12,402ha は、計画区北部の中国山地沿いに比較的大きな団地があり、小さい団地が計画内の各所に点在しています。計画区の森林全体に占める国有林野の割合は 6 %と低いものの、国有林野では水源かん養保安林が 98%を占めており、下流域の水源地域として重要な役割を果たしています。

- (1) 保安林の指定などを踏まえ、山地災害防止機能や水源かん養機能をさらに発揮させるため、「資源の循環利用林」から約 140ha を「水土保持林」に変更します。
- (2) 健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、前計画の 1.2 倍(約 342 千 m³)の間伐を実施します。
- (3) 北西部の国有林野は、県立自然公園に含まれ、自然景観に優れ、森林浴や自然観察など身近に自然とふれあえることから、これらの地域にレクリエーションの森を設定しており、保健休養の場として多くの人に利用されています。
- (4) 国宝・重要文化財等の維持・修繕のための資材を持続的に供給するため、文化財継承林を設定し文化財保全への貢献に努めます。



「間伐指定林分（熊谷山国有林）」
（広島県安芸高田市）



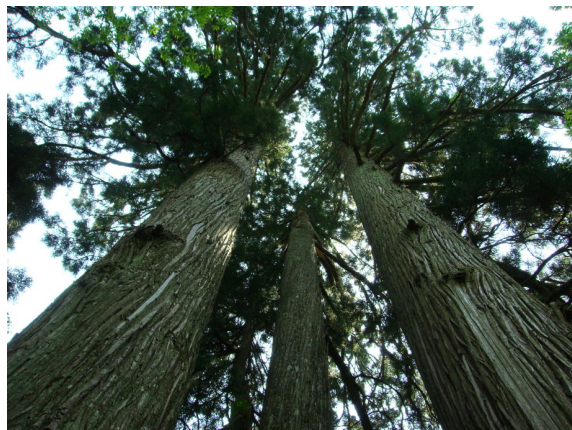
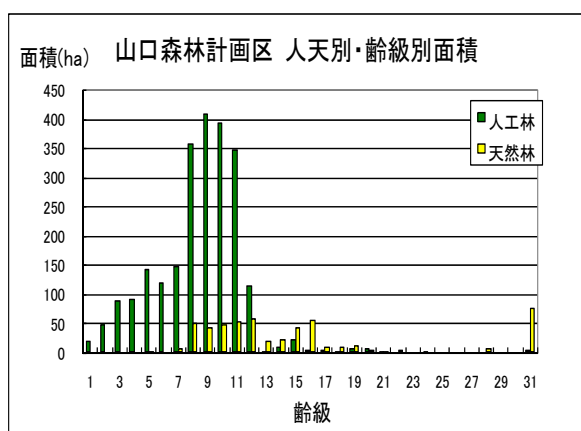
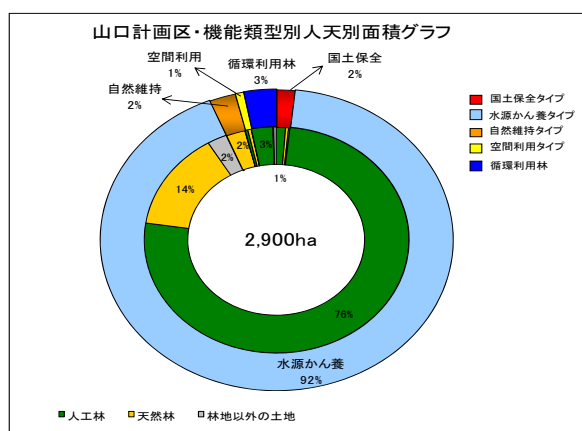
「（文化財継承林(ヶ軒) 七ヶ所山国有林）」
（広島県庄原市）

◆山口森林計画区の特徴◆

山口森林計画区は山口県南部中央に位置し、国有林野 2,900ha は山口市の北東部に偏在し、槇野川及び佐波川の源流部に位置しています。

計画区森林総面積に占める国有林野の割合は2%と低いものの、国有林野での水源かん養保安林が99%を占め、水源かん養機能の発揮が期待されています。また、ブナ、ミズナラの落葉広葉樹と通称「滑^{なめら}マツ」と称されるアカマツ大径木の混交した林分は、今では希少なものとなっており、遺伝資源として適切な保護管理に努めます。

- (1) 機能類型別面積は、「水土保持林」が94%、「森林と人との共生林」が3%で、公益林の面積が97%を占めています。
- (2) 健全な森林の育成や二酸化炭素の吸収目標の達成などのため、前計画の1.1倍(60千m³)の間伐を実施します。
- (3) 水土保持機能をより発揮させるため、長伐期施業の森林を約600ha増やし、下層植生を発達させ林床や土壌の安定化を図ります。
- (4) ボランティア等による自主的な森林づくり活動を支援するため、滑山国有林において「ふれあいの森」を引き続き設定し、森林整備等へのフィールドの提供を行います。



「森の巨人たち 100 選に選ばれた「三本杉」
(滑山国有林)」(山口県山口市)



「滑マツ後継樹の育成」(滑山国有林)
(山口県山口市)

21年度策定・森林計画区別・機能類型別面積

新計画

単位：面積

森林計画	森林管理署	水土保全林			森林と人との共生林			公益林計	資源の循環利用林	合 計
		国土保全	水かん	小計	自然維持	空間利用	小計			
湖北	滋賀	5,223	1,712	6,936	2,721	359	3,080	10,016	224	10,240
大阪	京都大阪			0		1,033	1,033	1,033	4	1,037
円山川	兵庫	1,146	2,332	3,478	253	547	800	4,278	13	4,291
日野川	鳥取	235	1,992	2,227	2,345	1,094	3,440	5,666	23	5,689
江の川下流	島根	963	8,001	8,964	228	918	1,146	10,110	304	10,415
江の川上流	広島北部	1,070	9,918	10,988	313	374	686	11,675	728	12,402
山口	山口	49	2,673	2,721	70	22	92	2,813	87	2,900
合 計		8,686	26,629	35,314	5,930	4,347	10,278	45,592	1,383	46,974

旧計画

単位：面積

森林計画	森林管理署	水土保全林			森林と人との共生林			公益林計	資源の循環利用林	合 計
		国土保全	水かん	小計	自然維持	空間利用	小計			
湖北	滋賀	5,221	1,714	6,936	2,721	359	3,080	10,016	224	10,240
大阪	京都大阪			0		1,035	1,035	1,035	4	1,039
円山川	兵庫	1,146	2,339	3,485	249	547	796	4,281	13	4,293
日野川	鳥取	235	1,994	2,229	2,345	1,094	3,440	5,668	23	5,691
江の川下流	島根	969	4,804	5,774	157	917	1,074	6,848	3,573	10,420
江の川上流	広島北部	973	9,868	10,841	313	374	686	11,528	881	12,409
山口	山口	10	2,711	2,721	70	22	92	2,813	87	2,900
合 計		8,555	23,431	31,986	5,855	4,347	10,203	42,189	4,804	46,993

新旧増減(比較)

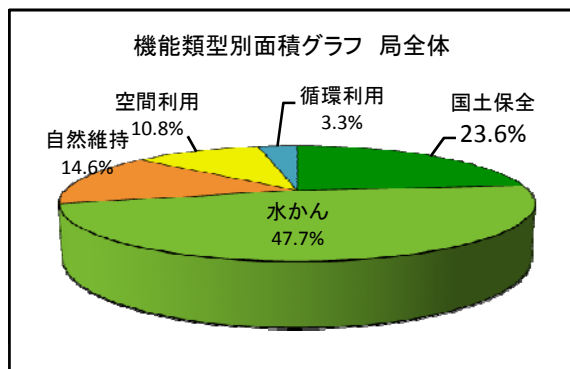
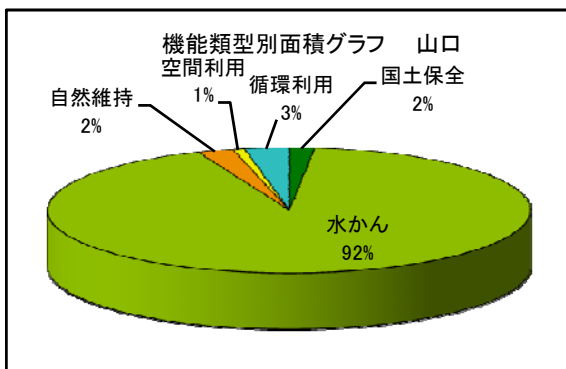
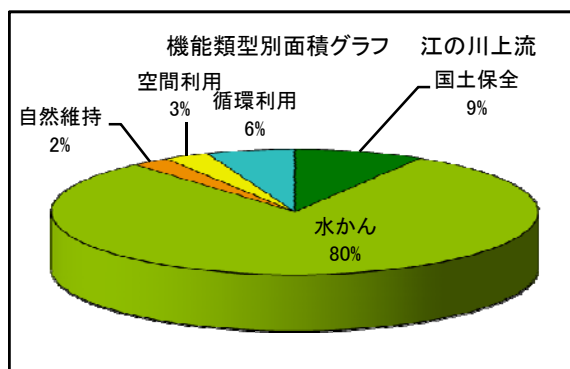
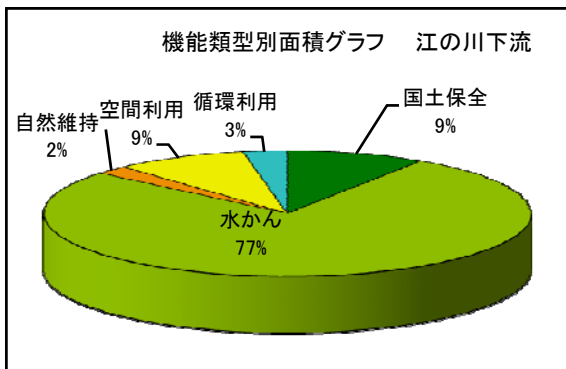
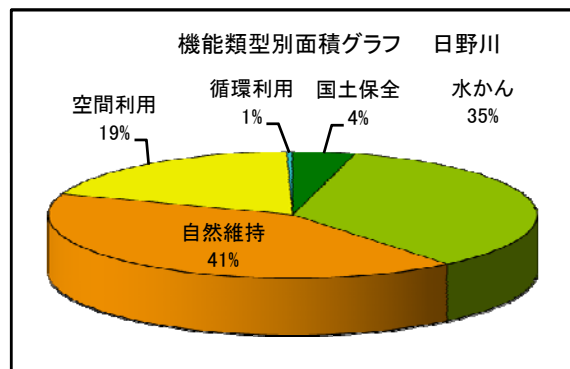
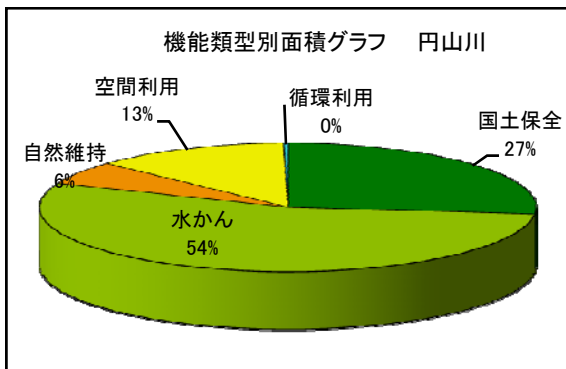
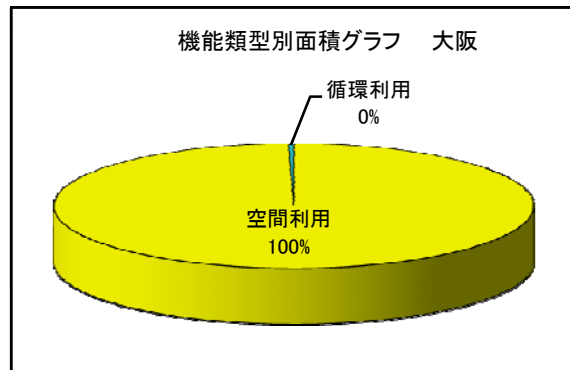
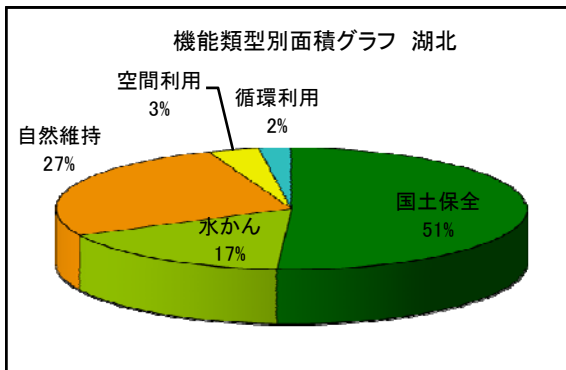
単位：面積

森林計画	森林管理署	水土保全林			森林と人との共生林			公益林計	資源の循環利用林	合 計
		国土保全	水かん	小計	自然維持	空間利用	小計			
湖北	滋賀	2	▲ 2	▲ 0	0	0	0	▲ 0	0	▲ 0
大阪	京都大阪	0	0	0	0	▲ 2	▲ 2	▲ 2	0	▲ 2
円山川	兵庫	0	▲ 7	▲ 7	4	0	4	▲ 2	0	▲ 2
日野川	鳥取	▲ 1	▲ 2	▲ 2	0	0	0	▲ 2	0	▲ 2
江の川下流	島根	▲ 7	3,197	3,190	71	2	72	3,263	▲ 3,268	▲ 6
江の川上流	広島北部	97	50	147	0	0	0	147	▲ 153	▲ 6
山口	山口	39	▲ 39	0	0	0	0	0	0	0
合 計		130	3,198	3,328	75	▲ 0	75	3,403	▲ 3,422	▲ 19

※新旧増減の▲は面積の減

※国土保全：国土保全タイプ、水かん：水源かん養タイプ、自然維持：自然維持タイプ、空間利用：森林空間利用タイプ

平成21年度策定 計画区別・機能類型別・面積グラフ

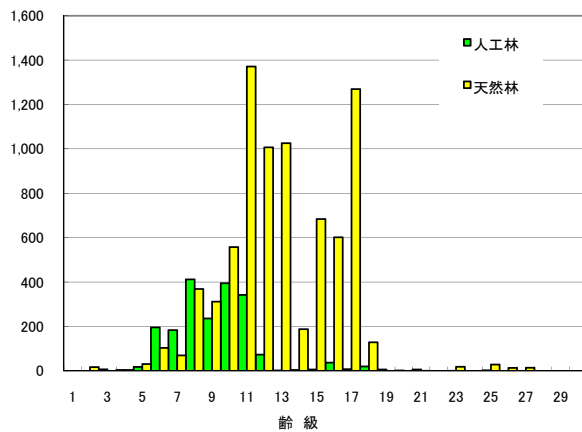


国土保全: 国土保全タイプ
 水かん: 水源かん養タイプ
 自然維持: 自然維持タイプ
 空間利用: 森林空間利用タイプ
 循環利用: 資源の循環利用林

平成21年度策定 森林計画区別 人天別・齢級別面積グラフ

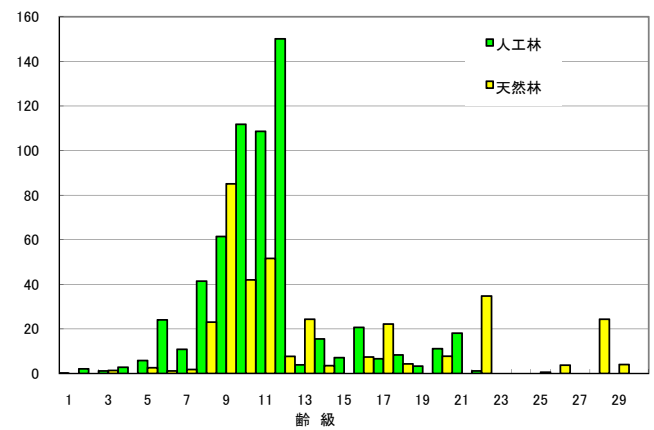
面積(ha)

湖北森林計画区 人天別・齢級別面積



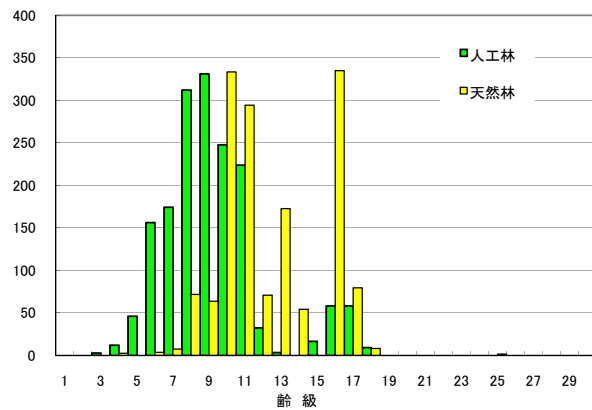
面積(ha)

大阪森林計画区 人天別・齢級別面積



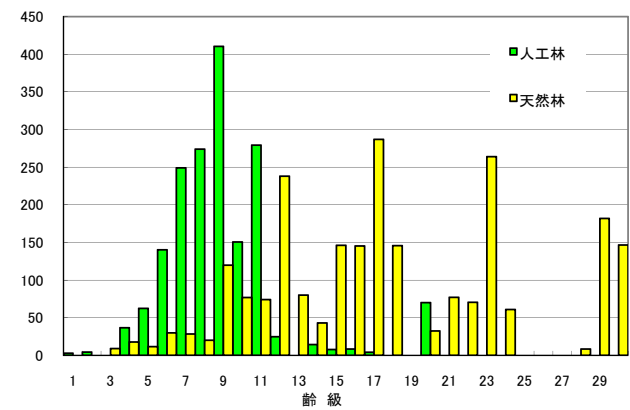
面積(ha)

円山川森林計画区 人天別・齢級別面積



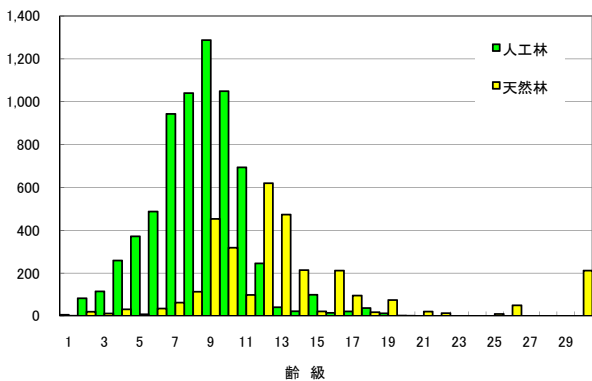
面積(ha)

日野川森林計画区 人天別・齢級別面積



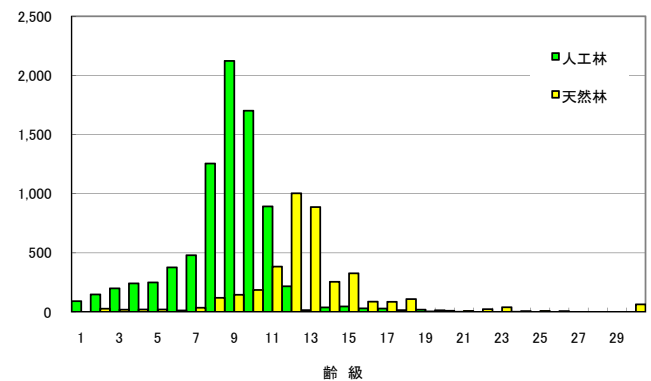
面積(ha)

江の川下流森林計画区 人天別・齢級別面積



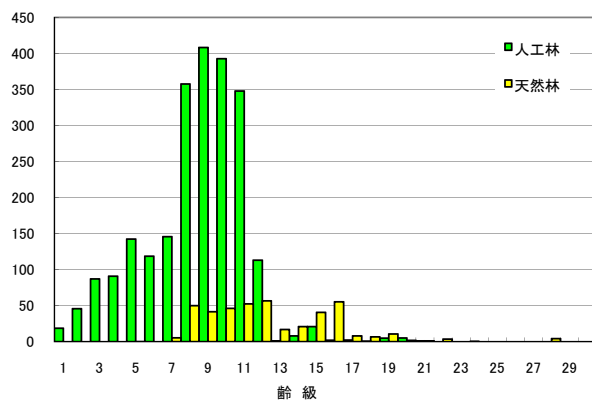
面積(ha)

江の川上流森林計画区 人天別・齢級別面積



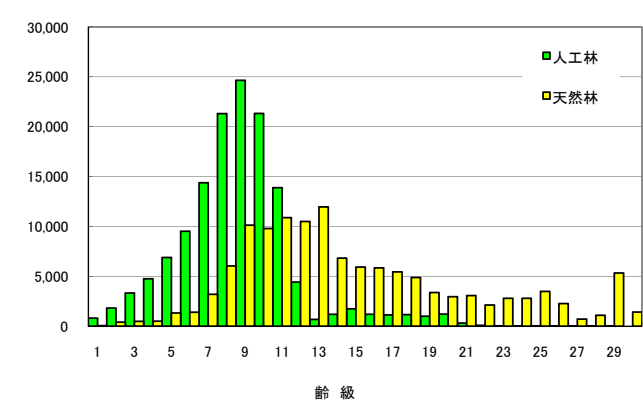
面積(ha)

山口森林計画区 人天別・齢級別面積



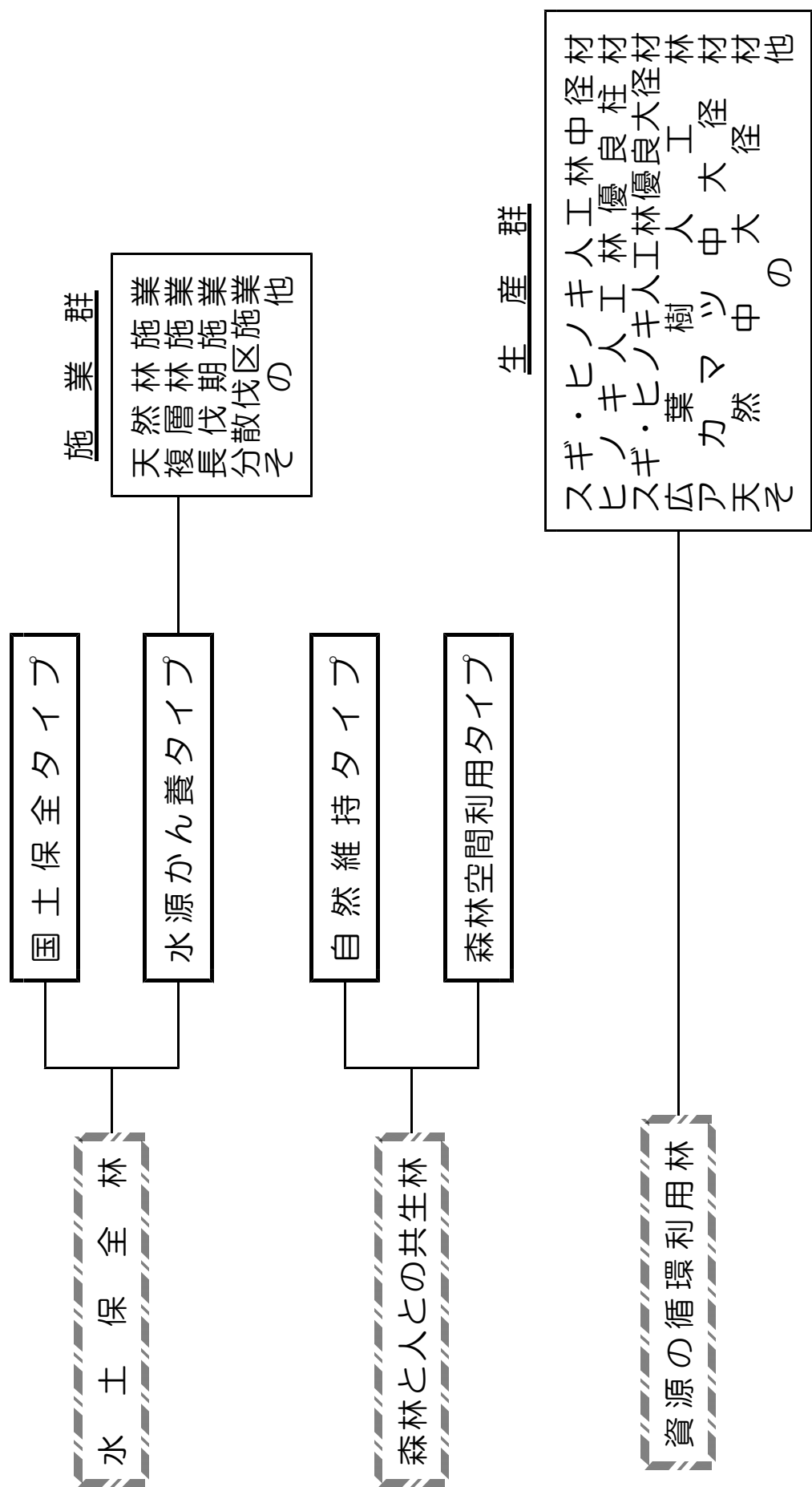
面積(ha)

全森林計画区計 人天別・齢級別面積



機能類型別・施業群・生産群

機能類型



平成21年度策定の水源かん養タイプ・資源の循環利用林の面積

■ 水土保全林・水源かん養タイプの施業群別面積

単位: ha

森林計画	天然林	複層林	長伐期	分散伐区	その他	計
湖北	523	—	787	—	341	1,652
大阪	—	—	—	—	—	—
円山川	424	—	1,539	—	310	2,273
日野川	565	—	578	389	397	1,928
江の川下流	1,941	—	526	4,981	409	7,856
江の川上流	2,179	603	1,222	5,121	635	9,761
山口	326	3	860	1,314	100	2,603
計	5,958	606	5,512	11,805	2,193	26,074

※面積は林地面積。

※その他は保護樹帯、試験地等の面積。

※四捨五入により計が合わない場合がある。

■ 資源の循環利用林の生産群別面積

単位: ha

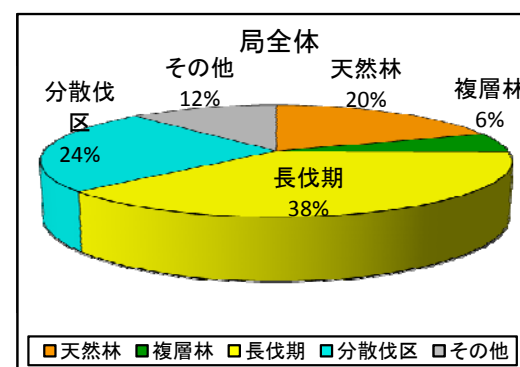
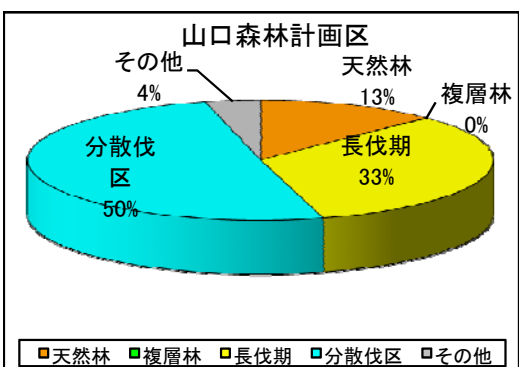
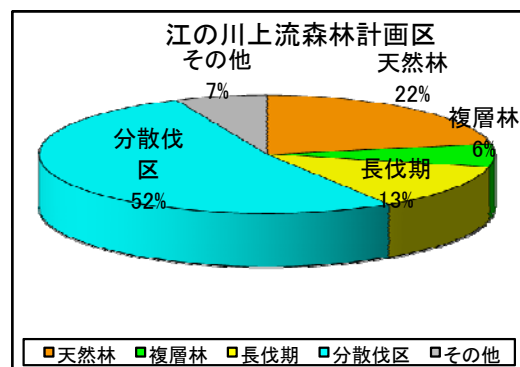
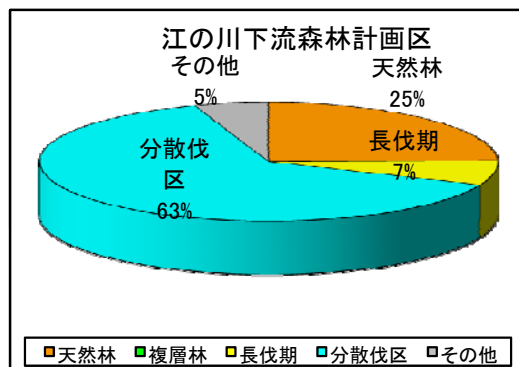
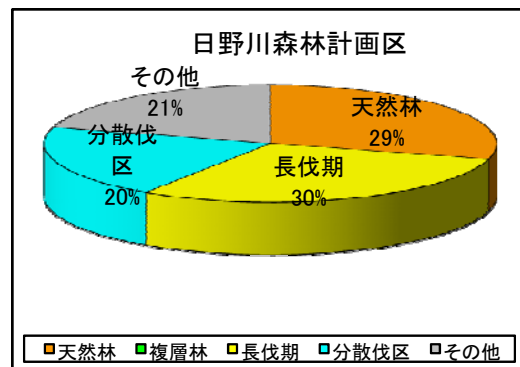
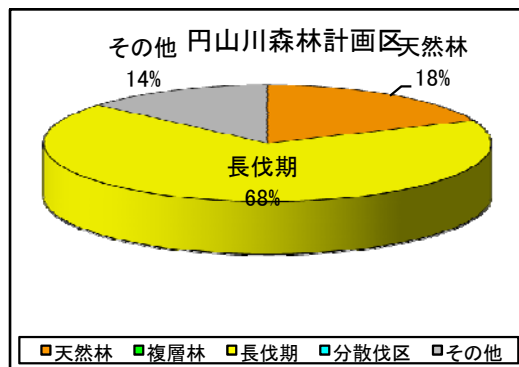
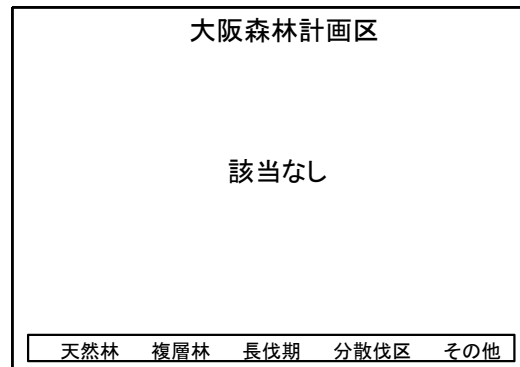
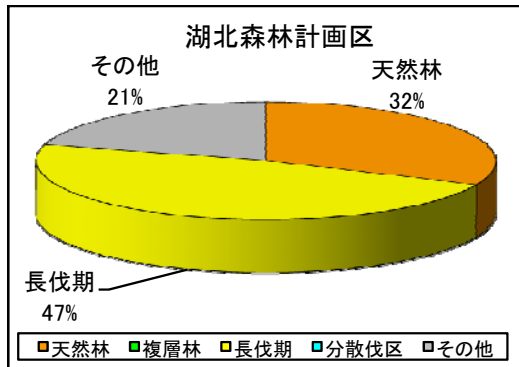
森林計画	スギ・ヒノ キ人工林 中径材	ヒノキ優 良柱材	キ人工林 優良大径 材	広葉樹 人工林	天然林中 大径材	アカマツ 中大径材	その他	計
湖北	159	—	—	—	8	46	10	223
大阪	4	—	—	—	—	—	—	4
円山川	12	—	—	—	—	—	—	12
日野川	6	—	—	—	—	16	—	22
江の川下流	297	—	—	5	—	—	—	302
江の川上流	415	94	—	69	—	108	—	686
山口	75	—	—	—	3	—	—	78
計	969	94	—	74	11	170	10	1,327

※面積は林地面積。

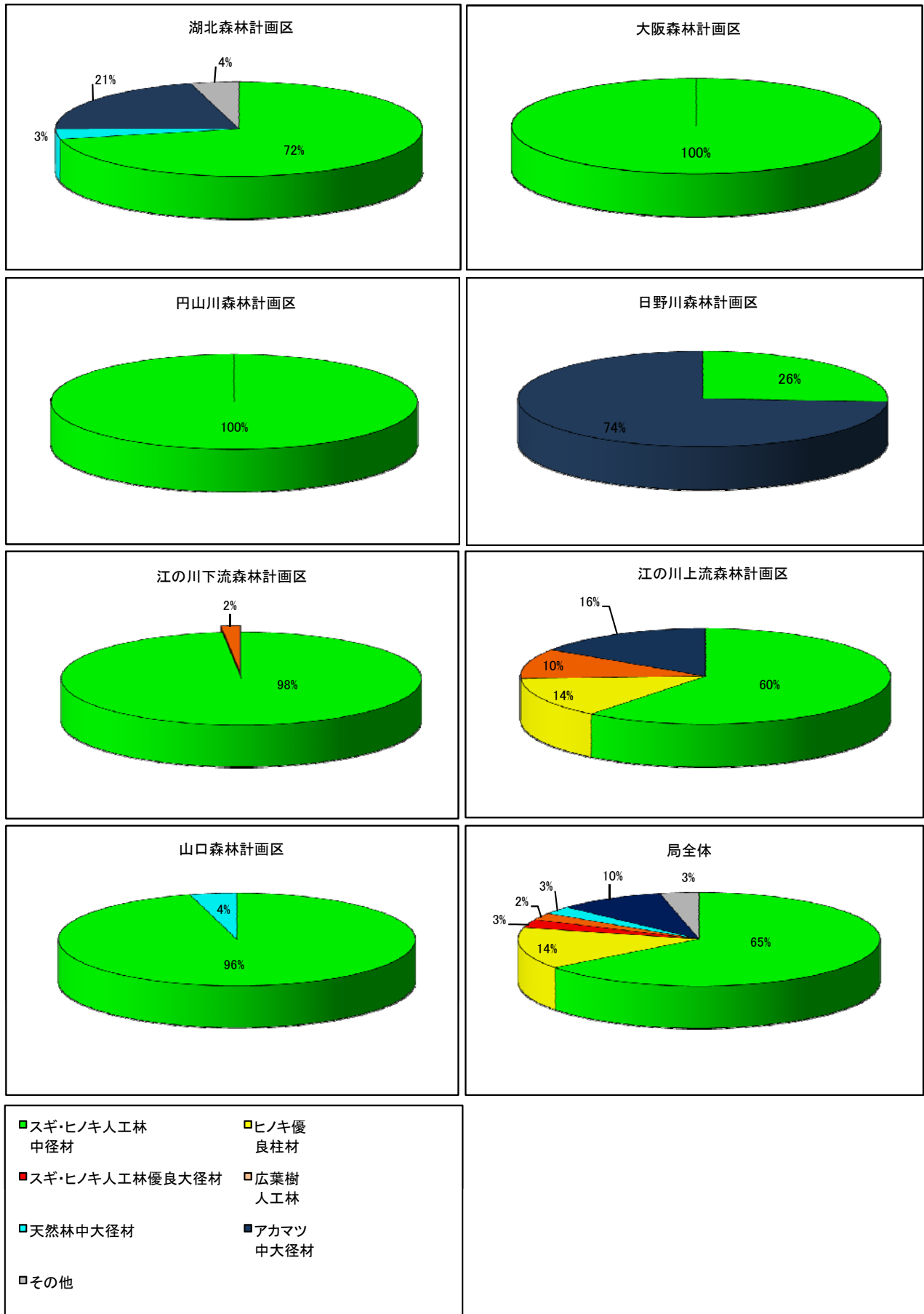
※その他は保護樹帯、試験地等の面積。

※四捨五入により計が合わない場合がある。

水源かん養タイプの施業群別面積グラフ



資源の循環利用林の生産群別面積グラフ



■ 保護林一覧表

計画 区名	府県	種 類	面積(ha)	新旧 別	設定 年度	概 要	備考
湖 北	滋賀県	上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林	573.74	新設	平16	海拔500mからブナ・ミズナラが優占的かつ広範囲に分布し、巨木が生育している植物群落の保護。	
		三国山湿原植物群落保護林	30.86	既設	平 4	生育の西限となる希少な湿原植物群落の保護。	
大 阪	大阪府	設定無し					
円山川	兵庫県	四ヶノ仙奥山高知湿原等植物群落保護林	4.41	既設	平 4	中国地方の代表的なスギ天然林相（古千本スギ）の保護及び貴重な古生沼高地湿原の保護。	
		氷ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林	225.38	〃	平 4	日本海側における西限付近のブナ、オオバクロモジ群落の天然林の保護。	
		木地屋敷敷ブナ植物群落保護林	23.67	〃	平 2	但馬地方における代表的なブナを主体とする高齢級天然林の保護。	拡充 4.34
日野川	鳥取県	大山森林生態系保護地域	2,012.23	既設	平 2	地域を代表する原生的な天然林の保存。	
江の川 下 流	島根県	十文字山林木遺伝資源保存林	44.85	既設	平 2	主要な林業樹種の天然分布を保護し、林木の遺伝資源を保存する。 （保存対象樹種：スギ、イブナ、ミズナラ）	拡充 20.99
		十文字山ブナ植物群落保護林	42.44	〃	平 2	中国山地の自然を代表するブナ、ミズナラ等の天然林の保護。	拡充 35.69
		花の谷シャクナゲ植物群落保護林	5.35	〃	平 2	自生するシャクナゲ群落の保護。	
		三瓶山自然林植物群落保護林	121.43	〃	平 3	ブナ、ミズナラ、クリ等の三瓶山の自然を代表する天然林の保護。	
江の川 上 流	広島県	釜ヶ峰林木遺伝資源保存林	5.41	既設	平元	主要な林業樹種の天然分布を保護し、林木の遺伝資源の保存する。 （保存対象樹種：アカマツ、アベマキ）	
		指谷山ブナ植物群落保護林	75.17	〃	平 4	ブナを中心にした地域を代表する天然林の保護。	
山 口	山口県	滑山林木遺伝資源保存林	51.19	既設	平 4	主要な林業樹種の天然分布を保護し、林木の遺伝資源を保存する。 （保存対象樹種：アカマツ、ブナ、コナラ、外）	
		滑山林木遺伝資源保存林	12.93	〃	平元	主要な林業樹種の天然分布を保護し、林木の遺伝資源を保存する。 （保存対象樹種：アカマツ、モミ、ツガ、外）	
		滑山モミ植物群落保護林	3.47	〃	平元	歴史的、学術的に価値の高い巨木等の保護。	

■ レクリエーションの森一覧表

計 区 画 名	府 県	種 類	面積 (ha)	新既 別	設定 年度	概 要	備考
湖 北	滋賀県	奥伊吹 野外スポーツ地域	316.43	既設	平5	スキーやハイキングなどの森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。	
大 阪	大阪府	明治の森 箕面自然休養林	581.96	既設	昭52	明治の森箕面国定公園の大半を占めており、東海自然歩道、遊歩道、園地等が整備され、ハイキング、自然観察・散策等に利用されている。	
		紀泉高原 自然休養林	295.65	既設	昭43	海岸部に近い丘陵状の山型のため眺望に優れ、地利的条件も良く大阪方面からの入り込みも容易であり、登山やハイキングなど多くの人に利用されている。	
円山川	兵庫県	氷ノ山風景林	12.47 [291.45]	既設	平3	中国地方第2位の高峰氷ノ山を中心とした、ブナの天然林やチシマザサの群落等の優れた景観を呈している。	
		扇ノ山風景林	27.62 [207.85]	既設	平3	高齢のブナ林を主体とした天然林からは日本海が見下ろせる優れた景観呈している。	
		仏ヶ尾風景林	86.51	既設	平3	高齢級のブナ、ミズナラ等の天然広葉樹林は優れた景観呈している。	
		畑ヶ平懸崖風景林	50.33	既設	平3	畑ヶ平台地において深い亀裂を呈した断崖と溪谷からなったブナを主体とした天然林は優れた景観呈している。	
		霧ヶ滝・赤滝 風景林	32.92	既設	平3	落差60mの霧ヶ滝や赤滝の背景には高齢級のブナ、ミズナラ等の天然林は溪谷と一体となった優れた景観呈している。	
		小代溪谷風景林	61.40	既設	平3	魚止めの滝などの溪谷と一体となった優れた景観呈している。	
		三川山風景林	275.07	既設	昭56	三川山大権現社の借景林になっている。	
日野川	鳥取県	豪円山 野外スポーツ地域	13.28	既設	昭51	スキー場として活用している。	
		船上山風景林	133.56	既設	平3	懸崖と天然林の優れた景観	
		大山風景林	344.05	既設	平3	大山周辺を彩る優れた景観	
		鏡ヶ成風景林	173.68	既設	平3	烏ヶ山下部の景観	

注：円山川計画区の〔 〕は千代川計画区を含めた面積です。

計 区 画 名	府 県	種 類	面積 (ha)	新既 別	設定 年度	概 要	備考
江の川 下 流	島根県	三 ツ 石 山 自 然 観 察 教 育 林	212.48	既設	平元	ブナ、ミズナラを主体に樹種が豊富で、野生動植物の観察、自然科学教育に利用されている。	
		三 ツ 石 山 野 外 ス ポ ー ツ 地 域	125.96	既設	平元	中国地方のスキーのメッカとして脚光を浴びつつあり、関西方面からの利用者也増加傾向にある。	
		大 楨 谷 風 景 林	22.88	既設	昭56	新緑と紅葉時期のハイキング、魚釣り等観光、村民の憩いの場として利用されている。	
		三 ツ 石 山 風 景 林	30.86	既設	平9	西中国山地国定公園に含まれ、ブナ、ミズナラを主体とした林相がスキー場の近景林となっている。	
		三 瓶 山 風 致 探 勝 林	478.10	既設	昭51	三瓶山は、大山の男性的な雄姿に対し、女性的な美しさを秘めている山として親しまれている。スギ、ヒノキ、クロマツ、カラマツの人工林、ブナ、コナラ等の天然林及び草地と多様な林分からなり、風致探勝の場として利用されている	
江の川 上 流	広島県	釜ヶ峰山自然 観 察 教 育 林	43.70	既設	平11	釜峰神社、釜峰城趾、古参道及び伊与谷遺跡等があり、古くから霊山として敬い、また、林木遺伝子源保存林のアハマキやヒノキ等の森林と歴史が一体となり、多くの人々に親しまれています。	
		大土山森林 ス ポ ー ツ 林	36.65	既設	昭50	池と森林が優れた景観を呈し、また、国有林周辺一帯が「大土山憩いの森」に指定されており、ハイキング、キャンプ等に利用されています。	
		鬼ヶ城 風 景 林	49.53	既設	昭50	奇岩と森林が優れた景観を呈しています。	
		鎌倉寺山 風 景 林	70.59	既設	昭50	奇岩と森林が優れた景観を呈し、また鎌倉寺山山頂の遺跡を巡る登山コースとしても利用されており、眺望と林内散策の両面を持った森林です。	
山 口	山口県	滑山風景林	12.23	既設	平2	アカマツ、モミ、ツガ、ヒノキの巨木があり、古の森をしのばせる。	

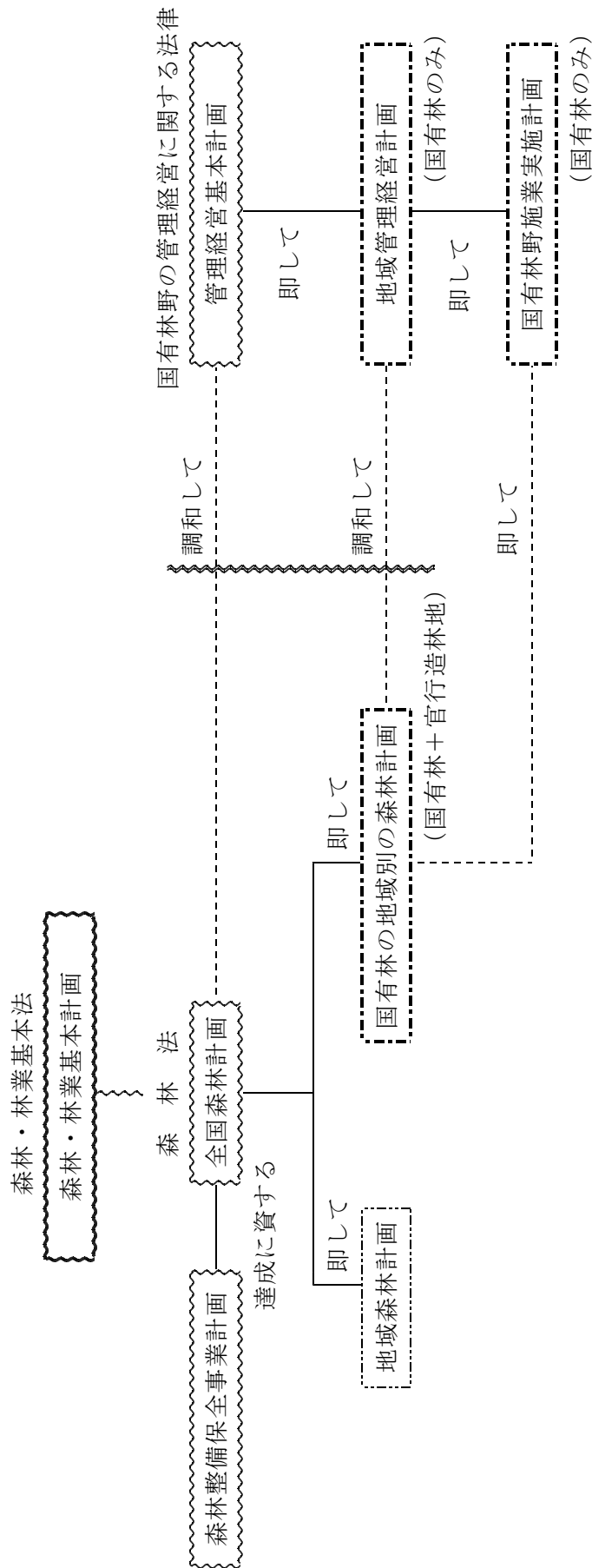
【全森林計画区】

平成22年度森林計画区別・機能類型別面積（平成22年4月1日）

単位：ha

森林計画区名	府県	水土保全林			森林と人との共生林			公益林計	資源循環	合計	公益林率 %
		国土保全	水源かん	小計	自然維持	空間利用	小計				
加賀	石川	14,530	500	15,031	17,073	1,775	18,848	33,879	30	33,909	99.9
越前	福井	18,699	156	18,855	9,617	637	10,255	29,110	15	29,124	99.9
若狭		2,564	4,475	7,039	283	56	339	7,378	43	7,421	99.4
伊賀	三重	832	437	1,269	19		19	1,288	11	1,299	99.2
北伊勢		766	1,484	2,250	47	89	136	2,386	169	2,555	93.4
南伊勢		1,604	4,113	5,716	1,521		1,521	7,237	46	7,283	99.4
尾鷲熊野		4,321	5,711	10,032	156	93	249	10,280	161	10,441	98.5
湖北	滋賀	5,223	1,712	6,936	2,721	359	3,080	10,016	224	10,240	97.8
湖南		2,665	1,349	4,013	269	2,378	2,647	6,661	260	6,920	96.2
由良川	大阪	859	1,275	2,135	132	195	327	2,462	312	2,773	88.8
淀川上流		401	496	897	4	853	857	1,754	85	1,839	95.4
大阪						1,033	1,033	1,033	4	1,037	99.6
加古川	兵庫	1,713	1,253	2,966	97	1,899	1,995	4,961	195	5,155	96.2
揖保川		1,063	10,317	11,380	663	2,196	2,859	14,239	443	14,681	97.0
円山川		1,146	2,332	3,478	253	547	800	4,278	13	4,291	99.7
大和・木津川	奈良	1	41	41	28	397	425	466	451	917	50.8
北山・十津川		822	5,475	6,297	2,117	155	2,272	8,569	177	8,746	98.0
吉野		531	919	1,451	461	12	473	1,924	148	2,072	92.9
紀南	和歌山	1,243	7,052	8,295	1,481	444	1,925	10,220	692	10,912	93.7
紀北		264	1,225	1,489	30	603	634	2,123	749	2,872	73.9
紀中		32	1,855	1,887	207		207	2,093	230	2,323	90.1
日野川	鳥取	235	1,992	2,227	2,345	1,094	3,440	5,666	23	5,689	99.6
天神川		188	6,059	6,247	1,834	672	2,506	8,752	172	8,925	98.1
千代川		792	11,438	12,229	1,381	1,566	2,947	15,176	149	15,325	99.0
江の川下流		963	8,001	8,964	228	918	1,146	10,110	304	10,415	97.1
斐伊川		352	4,327	4,678	34	344	378	5,056	923	5,979	84.6
高津川	岡山	2,048	8,644	10,692	219	759	978	11,670	945	12,615	92.5
高梁川下流		659	6,691	7,350	54	527	581	7,931	1,695	9,626	82.4
旭川		596	6,565	7,160	500	1,968	2,468	9,628	314	9,943	96.8
吉井川	広島	1,112	9,295	10,408	398	1,684	2,082	12,490	148	12,638	98.8
高梁川上流		26	3,309	3,334	99	67	166	3,500	202	3,702	94.5
江の川上流		1,070	9,918	10,988	313	374	686	11,675	728	12,402	94.1
太田川		1,105	6,347	7,452	564	5,678	6,242	13,694	298	13,992	97.9
瀬戸内		4,283	7,140	11,423	103	2,690	2,793	14,216	480	14,695	96.7
山口	山口	49	2,673	2,721	70	22	92	2,813	87	2,900	97.0
岩徳		87	701	788	195	1,319	1,514	2,302	174	2,476	93.0
豊田		54	172	227				227	10	236	95.9
萩		342	1,925	2,267		106	106	2,373	35	2,407	98.6
合計		73,236	147,375	220,611	45,517	33,509	79,026	299,637	11,140	310,777	96.4
前計画面積		73,108	144,175	217,283	45,442	33,509	78,951	296,234	14,561	310,796	95.3

国 有 林 の 森 林 計 画 制 度



計 画	目 的	樹 立 者	計 画 期 間 等	根 拠 法 等
全国森林計画	全国の民有林、国有林合わせた森林の整備に関する計画	大臣	15年（5年ごとに見直し）	森林法
森林整備保全事業計画	森林整備事業計画と治山事業計画を統合した公共事業計画	大臣	5年	"
地域森林計画	対象とする森林計画区の公有林、私有林の整備に関する計画	知事	10年（"）	"
国有林の地域別の森林計画	対象とする森林計画区の国有林の整備に関する計画	局長	10年（"）	"
管理経営基本計画	全国の国有林野管理経営に関する計画	大臣	10年（"）	国有林野管理経営法
地域管理経営計画	対象とする森林計画区の国有林野の管理経営に関する計画	局長	5年	"
国有林野施業実施計画	対象とする森林計画区における箇所別の伐採、更新等の計画	局長	5年	訓 令

用 語 解 説

〇〇の森、保護林

用 語	解 説
ふれあいの森	「森林づくりに参加したい」「森林とふれあいたい」「森林の豊かさを理解したい」という方々の声に応え、国有林をフィールドとして提供するもの。ボランティア団体等の皆さんが中心となり、森林作業体験や様々なアイディアを活かして、森林づくり活動や親林活動（森林に親しむ活動）を楽しむ場。森林管理署等と団体等が協定を締結。
遊々の森	国有林の豊かな森林環境を子どもたちに提供して、学校教育における「総合的な学習の時間」等の中で、様々な自然体験や自然学習を進めていただくための森林。
世界文化遺産貢献の ^{もり} 森林	文化財の修復に必要な材や檜皮の提供及び文化財等と一体となった景観の保全等を図る森林。京都、奈良、和歌山、広島、島根の国有林に設定。
古事の森	文化財等に指定されている神社仏閣などの木造建造物の修理（修復）の資材（木材）、特に大径長尺材の供給を、国有林では多様な森林を有するという特性を活かして計画的な供給に努めるため設定した森林。NPO等の協力・連携を図りながら、200～400年というこれまでにない超長期にわたる森林づくりの象徴的な取り組み。
レクリエーションの森	国有林野のうち、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的として指定し整備した森林。自然休養林、自然観察教育林、野外スポーツ林、風景林等がある。
法人の ^{もり} 森林	公益活動としての森林づくり、創立記念としての森林づくり、社員教育の場としての森林づくり、顧客とのふれあいの場としての森林づくり等法人の皆さんが、国土の保全や生活環境を守ること、森林資源の造成を図ることを目的として作られる森林。
分収造林	国有林の土地に、法人・個人等の国以外の方が木を植え、それを一定の期間育てた後に伐採し収益を分収する制度。
分収育林	すでに国有林において育てている途中の人工林及び天然林に対し、法人、個人等が一定の費用を負担してもらい、今後樹木を共有して共に育てる制度。一定の時期に伐採を行って、その収益を分収することを基本としている。
森林生態系保護地域	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的として設定している。
森林生物遺伝資源保存林	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を自然生態系内に広範に保存することを目的として設定している。
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を自然生態系内に広範に保存することを目的として設定している。
植物群落保護林	我が国または地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、あわせて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的として設定している。
特定動物生息地保護林	特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、あわせて学術研究等に資することを目的として設定している。
特定地理等保護林	我が国における特異な地形、地質の保護を図り、あわせて学術研究等に資することを目的として設定している。

その他（あいうえお順）

用 語	解 説
育成単層林施業	森林を構成する樹木の全部又は大部分を一度に伐採し、そのあとに人為により一斉に植林などを行ない、年齢や高さのほぼ等しい樹木から構成される森林(単層林)を造成する森づくりの方法。
育成複層林施業	森林を構成する林木を択伐等により部分的に伐採し、そのあとに植林を行うこと等により、年齢や高さの異なる樹木から構成される森林(複層林・施業の関係上一時的に単層となる森林を含む)を造成する森づくりの方法。
天然生林施業	森林を自然の推移に委ね、天然更新など主として自然の力を活用して森林を造成する森づくりの方法。
枝打ち	節のない柱材の生産等のため、立木の枝を切り落とす作業。通常樹木の最も長い枝(力枝)より下の枝を切り落とす。
皆伐	主伐の一種で、一定範囲の樹木を一度に全部又は大部分を伐採する方法。
下限林齢	皆伐、複層伐ができる最低林齢。
間伐	育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。一般的に除伐後、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に行われる。
溪間工	治山ダム的一种。山腹崩壊の防止、土石流による下流への土砂流出の防止等を目的として設置される工作物。
更新	樹木の伐採跡や、山火事跡等に、植林を行うこと。または、天然更新により新しい森林をつくること。
更新伐(複層伐)	主伐の一種で、育成複層林を造成するために、一定の範囲の樹木の一部を伐採すること。伐採後には更新を伴う。
作業道	林道などから分岐し、立木の伐採、搬出、造林などの林内作業を行うために作設される簡易な構造の道路。
山腹工	山が崩れたところがそれ以上大きくならないように工作物などを施工した後で、苗木を植えて森林にもどしたり、そのままにしておくなど危険な状態にある山が崩れるのを防いだりする工事。
里山林	農山漁村集落周辺にあり、かつては薪炭やシイタケ等の特用林産物を生産するなど人と深いかわりを有していた森林。
下刈	植栽した苗木等の成長を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。一般に植林後数年間、毎年、夏期に行う。
樹冠	樹木の枝と葉の集まり。
主伐	利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後には更新を行う。
上限伐採面積	水土保持林・水源かん養タイプに区分している施業群ごとの面積を下限林齢でそれぞれ除して、得た面積を5倍したものをもって伐採面積の上限として定めている。計画期間内の主伐面積を規制することによって水源かん養機の維持を図る。
除伐(じよばつ)	下刈りの必要がなくなり3～5年すると、他の樹木が生えてきて育てようとする樹木の生長を妨げるようになる。これら生長を妨げる樹木を伐り払い、育てようとする樹木の生長を助ける作業。
針広混交林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。
人工造林	苗木の植え付け、種子のまき付け、挿し木などの人為的な方法により森林を造成すること。天然更新に対する語。

用 語	解 説
人工林	人為を加えて成立した森林。天然（自然）林に対する語。一般には人工造林による森林を指すことが多い。
森林計画区	「森林法」等に規定される、森林計画制度に基づき、広域流域別に主要な河川及び行政区界により区分された区域であり、全国には158の森林計画区が定められている。近畿中国森林管理局管内は、40の森林計画区に区分されている。
森林計画制度	森林・林業の超長期的な特質を踏まえ、総合的な視点に立った計画的かつ適切な森林施業が行われるように、「森林・林業基本法」、「森林法」に基づき、国、県、市町村、森林所有者等の段階でそれぞれの役割に応じた計画を定める制度。
森林施業	森林を維持、造成するための伐採、造林、保育などの諸行為を適正に組み合わせ、目的に応じた森林の取り扱いをすること。広くは禁伐なども含める。
森林調査簿	国有林野施業実施計画の付属資料として備える、森林の位置と施業の効率性を考え取りまとめた、森林資源等に関する台帳。森林基本図、国有林野施業実施計画図と連動し、林班、小班を単位として構成している。
森林バイオマス	木材（丸太）を生産する過程で森林内で発生する間伐材や端材、エ事に伴う支障木等のほか、公園の樹木の剪定枝等も含め、燃料等の資源として利用できるクリーン（自然の樹木と同じ状態で、樹脂の注入等がされていないこと）でピュア（建築廃棄物のように混合物がないこと）な森林資源。
制限林	各法律、条令等により立木の伐採や土地の開発等に制限を受けている森林。例として保安林、自然公園指定がなされている森林。
択伐	主伐の一種で、林内の樹木の一部を抜き伐りすること。
治山事業	治山治水緊急措置法において①森林法に規定する保安施設事業と、②地すべり等防止法に規定する地すべり防止工事または、ぼた山崩壊防止工事に関する事業を治山事業という。
長伐期施業	通常の主伐が行われる年齢（例えばスギの場合40年程度）の概ね2倍程度の年齢で主伐を行う森林施業の一形態。
つる切	育てようとする樹木に巻き付くつる類を取り除く作業。通常、下刈りを終了してから、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。
低コスト路網生産システム	林道と作業道及び集材作業を行うクローラタイプ等の車両を安全に通行させるための施設で構成される道路のネットワークを活用して、高性能林業機械により間伐材等を低コストで効率的に生産する林内作業（集材、造材、運材等）の体系をいう。
天然更新	植林等の人為によらずに森林の造成を行うこと。自然に落ちた種子の発芽や、樹木の根株からのぼう芽による方法がある。必要に応じて、ササ類の除去等の人手を補助的に加えることもある。
伐期齢（ばっきれい）	林木が成熟期に達し、更新を前提として伐採・収穫される年齢。
檜皮採取対象林	神社仏閣等の修復等のために民有林では供給が難しい、檜皮の安定的供給及び技能者の養成等に資するため設定したヒノキ林。近畿中国森林管理局では294haを設定。
複層伐（更新伐）	主伐の一種で、育成複層林を造成するために、一定の範囲の樹木の一部を伐採すること。伐採後には更新を伴う。
複層伐（終伐）	主伐の一種で、造成された育成複層林の上層木を伐採すること。伐採後には更新を伴う。

用 語	解 説
保安林	水源のかん養、土砂の流出や崩壊の防備、生活環境の保全・形成等の目的を達成するため、森林法に基づいて農林水産大臣が指定する森林。指定されると一定の制限（立木竹の伐採、土地の形質の変更等の制限、植栽の義務等）が課せられる。指定の目的により、水源かん養、土砂流出防備など17種類がある。
保育間伐	森林の健全性を保持することを目的とした間伐
ぼう芽（萌芽）更新	天然更新の一種で、切り株から発生した萌芽を生長させて森林を成立させること。
本数調整伐	混み合った保安林において、本数を調整することによって、樹木の健全な成長やかん木等の生育を促進し、災害に強い森林を育てるために行う作業。
林種	森林の状態によって区分したもの。人工林、天然林、伐採跡地、未立木地、竹林に区分される。
林相（りんそう）	森林を構成する樹種、林冠の疎密度、林齢、林木の成長状態などによって示される森林の全体像を示すもの。
林道	木材などの林産物を搬出したり、林業経営に必要な資材等を運搬するために森林内に開設された道路の総称。一般には、適正な林道の整備を図ることを目的として、林道の構造等の基本的な事項を定めた「林道規程」の基準を満たしている自動車道を指す。
林班（りんぱん）	森林の位置と施業の便を考え「森林基本図」上に設定した森林区画の単位で、谷、尾根、河川などの自然地形を利用して区分する。数小班の集合から成る。
林齢	森林の年齢。人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、以後、2年生、3年生と数える。
齢級（れいきゅう）	林齢を一定の幅でくくったもの。一般に5年をひとくりにし、林齢1～5年生をI齢級、6～10年生をII齢級、以下III齢級、IV齢級・・・と称する。
列状間伐	間伐の方法の一つ。作業の低コスト化等を目的に、伐採や搬出に都合のよいように一定の間隔で列状に間伐を行う方法。